

用途に合わせて選べるカーペットエクストラクター
スナイパーシリーズ

取扱説明書



カーペットエクストラクター スナイパーシリーズの詳細 / 購入はこちら

<https://www.polisher.jp/product-group/151>

■安全にご使用していただくための注意点

マシンを利用する前に必ずこの取扱説明書をお読みください。適切な準備と操作手順、正しい使い方、およびこのマシンの限界を事前に理解しておいてください。間違った使い方や思い込みは事故やケガに繋がる可能性がありますのでご注意ください。清掃機材を継続的にアクシデントなく稼働させるには、定期的なメンテナンスと部品交換が必要です。

全てのマシンは動作確認を行ったうえで出荷されております。輸送途中のトラブルでマシンに損傷がないか商品到着時に必ず確認してください。輸送トラブルでの損傷、不具合の場合は運送会社と購入店の両方へ連絡してください。また万一初期不良と思われる不具合がある場合は購入店へ1週間以内に連絡してください。お届けした際の梱包ダンボールは破棄せずに、修理の際など返送時のために必ず保管しておいてください。

火災や感電、事故やケガのリスクを軽減するために

このマニュアルに記載されている方法でのみ使用してください。メーカーが推奨する付属品、アクセサリ、交換部品およびフィルターのみを使用してください。破損した部品、摩耗した部品は適切なパーツに直ちに交換してください。

電源コードを接続する前と取り外す前、作業を行う前は、必ずマシンのスイッチはオフにしてください。適切なアース接続が可能なコンセントに接続してください。子供の近くで使用しないでください。また階段の近く、階段の踊場で使用するときは落下の危険性がありますので細心の注意を払ってください。

- 電源プラグを差し込んだままマシンを放置しないでください。使用しない時や整備する前はコンセントからプラグを抜いてください。
- 電源コードやプラグが損傷した状態で使用しないでください。落下、破損、屋外での放置などによりマシンが動作しない場合は購入店に連絡して適切な処置を行ってください。
- コンセントからプラグを抜く時は電源コードを引っ張らずにプラグをつかんでください。マシンを移動させる際にコードを引っ張ったり、コードを引っ張って向きを変えたりしないでください。コードを鋭角な角に当てて引っ張らないでください。コードは熱を持ったものに触れないようにしてください。
- 付属する電源コードを使用してください。延長コードは利用しないでください。**
- 濡れた手で電源プラグを触らないでください。
- 清水または汚水がタンクに残った状態で階段を昇り降りしないでください。
- たばこ、マッチ、熱い灰など、燃えているものはマシンの側に置かないでください。
- ガソリンなどの引火性液体がある場所で使用したりしないでください。
- 酸素や麻酔薬など可燃性ガスが存在する場所で使用しないでください。
- 排気口などの開口部をふさいで使用したり、開口部の前に物を置かないでください。ほこり、糸くず、髪の毛、その他空気の流れを妨げる可能性のあるものを取り除いて使用してください。事故を防ぐために、髪の毛やダブついた衣服、指などを開口部や可動部から離してください。
- ホースやノズルに損傷、切り傷、穴が開いている場合は使用しないでください。
- 感電を避けるために、雨にさらしたり、マシン表面、ポンプユニット、モーターユニットが水に濡れた状態で使用しないでください。屋内で保管してください。

- 極暑または極寒の中で屋外に放置しないでください。
- モーターに油をささないでください。
- 揮発性物質を使用したり、揮発性物質が存在する場所では使用しないでください。
- マシンが稼働中または電源に接続されている間は修理をしないでください。電源コードを抜いてから修理を行ってください。
- 50度以上の水は使用しないでください。
- 本機には溶剤を使用しないでください。
- 乾式掃除機として使用しないでください。
- 部品の取り付けが不完全な状態で使用しないでください。
- 液体洗剤のみを使用してください。完全に溶解していない粉末洗剤はモーターにダメージを与えます。
- 必ず**消泡剤**を利用してください。粒子を含む泡はモーターにダメージを与えます。

■電源アースについて

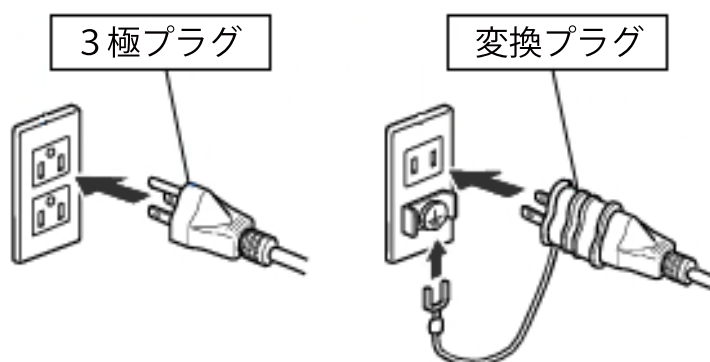


危険：間違った使い方をすると事故に繋がる危険性があります。

電気製品はアース接続をする必要があります。万一マシンが故障または誤作動を起こした場合でも、アース接続していれば感電のリスクを軽減できる場合があります。電源コードの先端にアースコードの付いた変換プラグを取り付けて利用します。電源プラグは地域の条例および規則に従って適切なコンセントに挿して使用してください。コードやプラグの修理や交換が必要な場合は、電源コードをコンセントから外してから行ってください。

コンセント接続方法

このマシンは100V～120Vの範囲で使用できます。2極コンセントには変換プラグを取り付けて、3極コンセントには変換プラグを外してご利用ください。



警告：感電や事故に繋がる恐れがありますので、電源接続は正しく確実に行ってください。電源コンセントが適切にアース接続されているか確認してください。電源プラグ、変換プラグを改造しないでください。

■マシンの手入れについて

マシンは精密機器として取り扱いってください。落下、大きな衝撃、その他の誤って生じた故障は有償修理となります。マシン使用後に本体、付属品、電源コード等に付いた汚れは湿らせた布等で拭き取ってください。マシンを使用しない時は電源コードとホース等を外し、乾燥した場所に保管してください。

■使用するにあたっての設定と準備

雨にさらさないでください。屋内に保管してください。

- 付属するバキュームホースとソリューションホースの真鍮クイックカプラーを取り付けます。
- ソリューションタンクに水(50度以下)を注ぎます。上から10cm辺りまで入れます。洗剤を使用する場合は必ずカーペットクリーニング用洗剤を使用してください。また指示通りの希釈率を守ってください。
※洗剤の濃度が高いと洗剤分がホースやポンプ内部に固着する可能性があります。
- カーペット(ソファ)洗浄を行う手順は、一先ず前処理剤を噴霧しブラシなどで攪拌します。その後に清水ですすぎ作業を行うことをお勧め致します。
- タンクに水を入れるまでヒータースイッチはオンにしないでください。(※ヒーター搭載機)
- ポンプを空運転しないでください。ポンプ内温度が高温になり過ぎないように、ホース、ポンプ内に水を満たして下さい。空運転/高温による損傷には充分ご注意下さい。
- 不純物が混入しないように取り付けられているフィルター類は外さないでください。
- 酸性洗剤、強い油性洗浄剤を使用しないでください。

① 電源コードについて

マシンには7.5mの電源コードが付属しています。

- 電源コードはマシンの背面に繋がります。
- ブレーカー容量が20アンペア以上のコンセントを利用してください。

プラグからアース端子を取り外さないでください。マシン動作中にブレーカーが落ちた場合は、スイッチを切りブレーカーをリセットしてください。ブレーカー容量に余裕のあるコンセントに移動して操作を再開してください。

② バキュームについて

エクストラクター スナイパーシリーズには高い真空度と豊富な風量を供給する強力なバキュームモーターシステムが搭載されています。

フロートアッセンブリーについて

このマシンには回収タンクが満杯になったとき、吸引力を減少させるためのバキューム制限機能(回収タンク内を上下にスライドするフロート機構)が備わっています。吸引力が制限された場合、フロアウォンド／ハンドツールのノズルからの吸引が抑制されます。またモーターのスピードが上がリ(モーター音が変化し)、回収タンクが満杯になったことを知らせます。

※完全に吸引をストップさせるものではありませんので、そのまま吸引し続けると水がモーター部まで達します。

フロートアッセンブリーは吸引した異物がモーター部分に侵入するのも抑制します。フロートアッセンブリーの取り外し方および適切なクリーニングについては、「メンテナンス」を参照してください。また、汚水回収タンク内の泡立ちおよびバキュームモーターの損傷を防ぐために、**低発泡性洗剤**または**消泡剤**を使用することが必要です。

マシンを保管する際は水分がバキュームモーターに損傷を与えないように、汚水回収タンクを空にして、タンクのフタを開けて保管してください。

■メンテナンス



注意： 保守点検を行う前に電源コードが抜かれていることを必ず確認してください。
警告： マシンが正しく作動しない、部品が損傷している場合は絶対に使用しないでください。修理が必要な際は購入店へお知らせください。

清掃機材を継続的にアクシデントなく稼働させるには、定期的なメンテナンスと部品交換が必要です。また使用した後は必ずマシン本体とホースやウォンド等のパーツを清掃してください。

- 清水タンクおよび汚水回収タンクをきれいな水ですすいでください。
- すべてのホースやウォンド、ポンプシステムをきれいな水で洗浄してください。
- 使用後にタンクに水が残らないようにしてください。
- すべてのクイックカプラーに潤滑剤をスプレーしてください。
- フロート・アッセンブリーを洗浄してください。

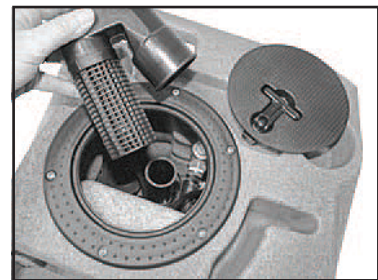
① フロート・アッセンブリー・スクリーンの清掃

回収タンクの内部には、スタンドパイプの上部にバキューム・フロート・アッセンブリーがあります。ゴミや水がバキュームモーター内に入るのを防ぎます。フロート・アッセンブリーを装着しないで、またはメンテナンスが不十分な状態でマシンを操作するとバキュームモーターの寿命が大幅に低下します。

このフィルターにゴミが蓄積すると、バキュームの風量が減少し水の回収率が大幅に低下する可能性があります。ゴミがフロート・アッセンブリー内に残っていたり、フロート・ボールに付着していると、汚水タンクが満杯になっても空気の流れが止まらず、モーター内に水が吸い込まれ排気口から水が吹き出すことがあります。

フロート・アッセンブリーを清掃するときはスタンドパイプからひねって外します。糸くずやゴミを取り除き、きれいな水ですすいでください。清掃後はアッセンブリーをスタンドパイプに戻し、リカバリータンクのフタを取り付けます。

敷かれて間もない新しいカーペットの清掃後などは糸くずやゴミが多く出ますので、特に念入りに清掃する必要があります。フロート・アッセンブリーのフィルターに糸くずやゴミが蓄積するとバキューム力が低下します。

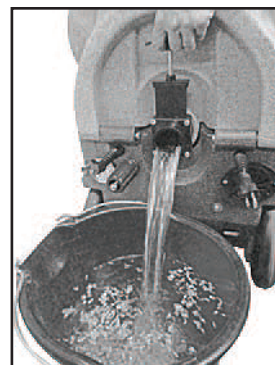
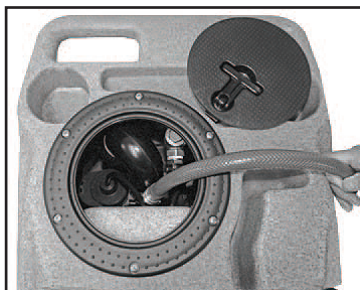


フロート・アッセンブリー

② 汚水回収タンクの洗浄

細かい泥やゴミが蓄積すると排水バルブが損傷する可能性があります。マシンの寿命を延ばすために定期的に回収タンクを清掃すれば悪臭も防げます。

汚水回収タンクを洗い流すにはフタを取り外し排水バルブを開きます。バケツを排水バルブの下に置きます。水道ホースを使用して汚れやゴミをタンクから洗い流します。排水バルブを閉じタンク内に消臭剤または消毒剤をスプレーします。



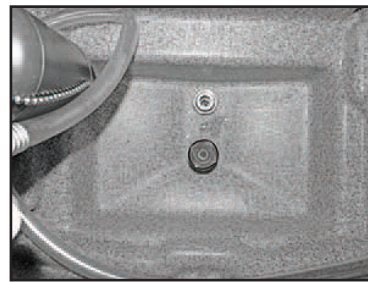
③ ポンプ吸入口の清掃



注意：この手順に進む前に電源コードが抜かれていることを確認してください。

- ポンプ吸入口のフィルターを調べるにはマシン前面の清水タンクのフタを開けます。フィルターは清水タンクの底にあります。
- フィルターキャップをつかみ、反時計回りに回してフィルターを緩めます。フィルターをきれいな水ですすいで清掃してください。必要に応じて歯ブラシ等を利用して固着した洗剤分や汚れを除去します。ポンプ吸入口フィルターは必要に応じて新しいものと交換してください。

※この部分に汚れが蓄積する場合は清水が通る部分全体をチェックする必要があります。



④ インライン・ポンプフィルターの清掃



注意：この手順に進む前に電源コードが抜かれていることを確認してください。

- マシン上部と下部を留めているラッチを外し、マシン上部を後ろに倒します。
- インラインフィルターの透明なカップ部分を回して外します。
- カップからスクリーンを取り外します。スクリーンを曲げないように注意してください。
- スクリーンとカップの両方をきれいな水ですすいでください。
- インラインフィルターを再び組み立て、慎重に元に戻します。
- マシン上部を元に戻してラッチを締めます。

重要

このフィルターは、ポンプへの水の詰まりを防ぐため、定期的に清掃する必要があります。



⑤ 排水バルブの清掃

排水バルブはマシンの背面にあり、ゲートがミゾにはまり込む構造になっています。排水バルブを開き、ミゾにゴミが詰まっていないか確認してください。この部分にゴミが詰まっていると水漏れが起こります。ブラシ等で排水バルブのミゾを清掃してください。

⑥ WD-40(水置換性除錆剤)をバキュームモーターに噴霧

水分がバキュームモーターに廻った場合は、汚水回収タンクのフタを開け、汚水を排水し、フロートアセンブリーを取り外します。バキュームモーターのスイッチをオンにし、WD-40をスタンドパイプに噴霧します。そして少なくとも3分間バキュームモーターを回してください。

マシンを保管する際はバキュームモーターの錆を防ぐために、汚水回収タンクを空にして、タンクのフタを開けて保管してください。

■停止方法

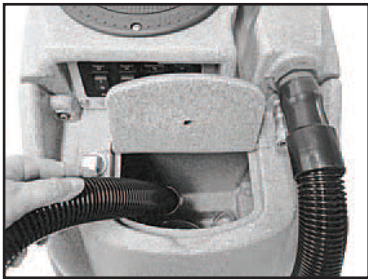


図1

- 作業が終了したら、すべてのスイッチをオフにします。
- 必ずウォンドからソリューションホースを外す前にレバーを握り圧力を逃してください。その後にウォンドからソリューションホースを取り外します。
- 清水タンクに水が残っている場合はバキュームホースを利用して吸引します(図1)。

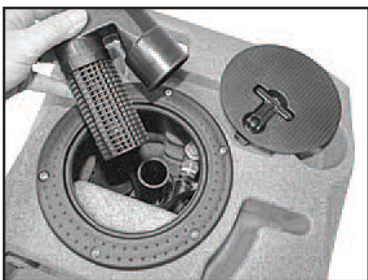


図2

- 電源コードをコンセントおよびマシンから取り外します。
- フロートアセンブリーを汚水回収タンクから取り外し、必要に応じてフィルターを清掃します(図2)。

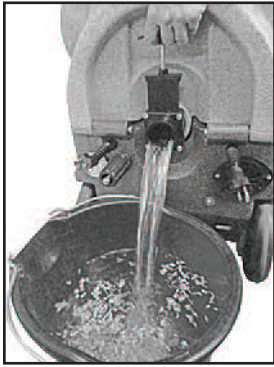


図3

- 残っている汚水を排水バルブからバケツに排出してください。(図3)
 - ※清水タンク用バケツと汚水用バケツは別のものを使用してください。
わずかなゴミでも問題を引き起こす可能性があります。
- すべてのホースを外してください。マシン本体とウオンド、ホースは乾燥した場所で保管してください。

■カーペットエクストラクターの保管

カーペットエクストラクターは気温が4度以下になる場所で保管しないでください。保管中に湿気がバキュームモーターに廻らないように汚水回収タンクを空にし、フタを開けて保管してください。また、乾燥した場所に立てた状態で保管してください。

エクストラクターを長期間使用しない場合は凍結によるポンプの損傷を防ぐため、また付属品やバルブにも損傷が起これないように防寒対策をする必要があります。

推奨する保管手順

- 清水タンクに不凍液を注ぎます。
- ソリューションホースをマシンに接続します。
- ウオンドを利用して不凍液をバケツに噴霧します。
- 清水タンクの余分な不凍液をバキュームホースで吸引してください。不凍液を適切に処分してください。

※使用を再開するには、清水を使用して不凍液と置き換えるように洗い流してください。

■トラブルシューティング(問題の解決方法)



注意: 保守点検を行う前に電源コードが抜かれていることを必ず確認してください。
警告: マシンが正しく作動しない、部品が損傷している場合は絶対に使用しないでください。修理が必要な際は購入店へお知らせください。

問題箇所	問題点	考えられる原因	対処法
バキューム部分	吸引しない、吸引力が弱い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 汚水回収タンクが満杯 2. フロート・アッセンブリー、ストレーナー等が汚れている 3. フロート・ボールが動かない 4. バキューム・ホースの取り付けがあまい、または損傷している 5. 排水バルブが開いている 6. 汚水タンクのフタ部分に隙間がある 7. バキューム・ホースに異物が詰まっている 8. 吸入口が詰まっている 9. 汚水回収タンクから水漏れする 10. 排気口から水が出る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. タンクを空にする 2. 洗浄する 3. フロートを軽くたたいて下に落とし、清掃する 4. 取り付け直す、または交換する 5. 排水バルブを閉める 6. ガasketを取り替える 7. 異物を取り除く 8. 清掃する 9. 掃除し乾燥させ、水漏れ部分を補修する 10. 汚水タンクを空にする、低発泡洗剤を使用する、消泡剤を利用する WD-40をモーターに噴霧 ※7ページ⑥を参照
電気系統	電源が入らない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが差し込まれていない 2. スイッチがオンになっていない 3. ブレーカーが落ちる 4. 電源コードが断線している 	<ol style="list-style-type: none"> 1. マシンとコードがつながっているか調べる 2. スイッチ部の断線を確認し、必要なら取り替える 3. ブレーカー容量を確認する 4. プラグを抜き、断線部分を調べる
	燃えている 臭いがする	<ol style="list-style-type: none"> 1. バキューム・モーターが焼けた 2. ポンプ・モーターが焼けた 	<ol style="list-style-type: none"> 1. バキューム・モーターを取り替える 2. ポンプ・モーターを取り替える
ポンプ部分	ポンプが正確に作動しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポンプに電流が流れていない 2. ティージェットが詰まっている 3. ストレーナーフィルターが詰まっている 4. ポンプ吸入口フィルターキャップに異物が詰まっている 5. ホースがゆるい、またはグラグラする 6. ポンプの故障 7. クイックカプラーが確実に接続されていない 8. ヒーターが付着物で詰まっている (※ヒーター搭載機) 9. ポンプが脈動する、水が出ない 10. カプラーの可動部分が固着している 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気系統を確認する 2. ティージェットを掃除する 3. ストレーナーフィルターを掃除する 4. 異物を取り除く 5. 必要に応じてホースを交換する 6. ポンプを交換する 7. クイックカプラーを確実に接続する 8. 必要に応じてヒーターを交換する (※ヒーター搭載機) 9. カプラー部分、ソリューションホース、ワンドバルブ、ジェット部分他、清水が通る箇所全てを確認し、掃除する 10. 余水ホースを差し込み通水確認する

関連
パーツ



ティージェット



ストレーナーフィルター



クイックカプラー



フロートアッセンブリー



ワンドバルブ

■機械製品の初期不良について

動作チェックを行った上で製品を出荷しておりますが、万一初期不良がありましたら迅速に対応させていただきます。

※初期不良として対応できるのはご購入頂いてから一週間です。(状況により有償対応となる場合があります)

「お客様のお名前」「製品名」「購入日」そして「症状」を下記よりご連絡ください。

機械製品の故障、初期不良のご連絡

<https://goo.gl/u5dqVs>



<無償修理規定>

1.正常な使用において不具合、故障などが発生した場合、無償で交換または修理いたします。

※ご購入から一週間以上経った場合は有償修理となります。

※家庭用品と違い業務用清掃用品は高い使用頻度と過酷な使用環境等が想定されますので、保証対象となるのは初期不良のみです。

2.ご購入から一週間以内でも下記の場合は有料修理となります。

①.使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

②.お買上後の移動や輸送あるいは、落下などによる故障及び損傷。

③.火災、地震、水害、落雷、その他天災及び公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)による故障及び損傷。

④.指定部品以外の消耗品及び付属品の交換。(改造を行った場合)

⑤.保証書にお買上年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。

⑥.保証書のご提示がない場合。

※モーター、ポンプが焼損した場合は如何なる場合も補償対象外で有料修理となります。

※電源コードを延長することでもモーターに負荷が掛かりますので十分にご注意ください。



カーペットエクストラクター スナイパーシリーズの詳細 / 購入はこちら

<https://www.polisher.jp/product-group/151>



〒594-0081 大阪府和泉市葛の葉町一丁目4番15号

Phone 0725-24-6745 Fax 050-3488-2120

<https://www.polisher.jp/> (ポリッシャー.JP)